

第 109 回講習会
科学英語の書き方とプレゼンテーション
〔共催 精密工学会東海支部〕

協賛 自動車技術会中部支部, 計測自動制御学会中部支部, 日本塑性加工学会東海支部,
日本設計工学会東海支部, (財)名古屋市工業技術振興協会, 愛知工研協会

開催日 2009年7月24日(金) 10.00 ~ 17.00

会場 名古屋大学シンポジオンホール〔名古屋市千種区不老町〕

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車, 徒歩5分

(地図) http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/

趣旨 2003年より開催して参りました, 英語による文書作成およびプレゼンテーション能力のレベルアップを目指した講習会は毎回大変な好評を頂いており, 今年度も講習会を企画致しました.

情報化・国際化が進む現在, グローバルな技術競争が進展している企業環境の中では, 英語による発表や論文・資料の作成機会が増えており, 技術者のプレゼンテーション, 論文・報告書作成の基礎となる技術英語の表現能力向上がますます必要となっています.

この講習会では, 特に生の英語によるプレゼンテーションを体験して頂くため, 外国人講師には英語で講演をしていただきますので, 幅広い分野からのご参加をお待ちしております. また, 10月にはプレゼンテーションの実践に重点を置いた講習会を開催しますので, こちらにも是非ご参加下さい (学会誌8月号にて案内予定).

題目・講師

10.00 ~ 10.10 (開会の挨拶)

10.10 ~ 11.40 技術英語の文法と基礎 (日本語で講演)

誤り易い表現, 文法の基礎, 日本人の英語の癖, 英語の適切な表現の選び方等を, わかり易く解説する.

名古屋工業大学 工学教育総合センター 教授 小山 由紀江
〔MA (Univ. of Illinois) 〕

11.40 ~ 12.50 昼休み

12.50 ~ 15.10 (途中10分休憩) 英語によるプレゼンテーション (英語で講演/質問は日本語可)

国際会議に於けるプレゼンテーション (会議での話し方, 発表に役立つ決まり文句, 研究発表の留意点) について, 詳しく紹介する.

名古屋大学 准教授 Edward T.Haig
〔Ph.D. (London Univ.) 〕

15.10 ~ 15.20 休憩

15.20 ~ 16.50 科学英語と技術論文 (英語で講演/質疑)

日常英語と科学技術英語の違い, 科学技術論文・研究論文の作成, 査読への対応等について説明する.

南山短期大学 講師 Laurence M. Dryden
〔MA (California State Univ., Los Angeles) 〕

16.50 ～ 17.00 (閉会の挨拶)

聴講申込締切 2009年7月13日(月)

定員 100名

参加費 会員 7,000円(学生員 3,000円)、会員外 13,000円(一般学生 6,000円)・・・(教材費込み)

会員 5,000円(学生員 1,000円)、会員外 11,000円(一般学生 4,000円)・・・(教材を各自で購入の場合。教材を各自で購入の場合は「連絡欄」にその旨を明記してください。)なお教材(コロナ社刊「科学英語の書き方とプレゼンテーション」定価 2,310円)は会場にても特別価格(2,000円)で販売します。

申込方法 東海支部ホームページ (<http://www.jsme.or.jp/tk/>) からお申し込み下さい。詳細はホームページをご覧ください。

FAXにてお申込みいただく場合は「東海支部第109回講習会申込み」と題記し、(1) 氏名、所属学会、会員資格、(2) 参加券送付先(勤務先か住所を明記)、(3) 勤務先名称、所属部課名、所在地、電話番号および FAX 番号、(4) 補助資料送付先 E-mail アドレス(講習会の補助資料をあらかじめ添付ファイルでお送りする場合に使用しますので、携帯電話メールアドレスはお控え下さい)をご記入の上お申し込み下さい。

参加費は、当日受付でお支払い下さい。

申込先 日本機械学会東海支部 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学工学部機械工学教室内
電話&FAX (052) 789-4494

ご注意 参加決定者には後日参加券をお送りしますので、当日必ずご持参ください。